

THE ROKINREN BANK  
**MINI DISCLOSURE**  
2023

R ろうきん



# 〈ろうきん〉は日本でただひとつ、はたらく人のための生活応援バンクです。

〈ろうきん〉と  
労金連のことが  
よくわかるよ。



いつも〈ろうきん〉をご利用いただき、ありがとうございます。

労働金庫連合会(労金連)は、協同組織の福祉金融機関である全国の〈ろうきん〉を会員とする中央金融機関として1955年に設立され、以来一貫して、〈ろうきん〉が行う金融活動を支えてまいりました。

このミニディスクロージャー誌は、労金連の役割や機能および経営情報などを皆さまに知っていただけるよう作成いたしました。今後とも安心・安全に〈ろうきん〉とお取引いただくための一助となれば幸いです。

労働金庫連合会

## ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。

会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。  
ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

## シンボルマーク



〈ろうきん〉のシンボルマークは、ROKINの頭文字のRをデザインしたもので、同時に鳥の親子を表しています。鳥の親子は、親しみやすさを表すとともに、愛とやさしさ、親から子へと引き継がれる労金運動を意味し、はばたく鳥は、より発展する〈ろうきん〉の飛翔を表現しています。シンボルマーク・カラーはブルーです。〈ろうきん〉ブルーは「知性」「未来」「希望」を表現しています。シンボルマークには、〈ろうきん〉の基本理念が表現されています。

## CONTENTS

ろうきんの理念 表紙裏面

### 〈ろうきん〉と労金連について

〈ろうきん〉と銀行の違いは何ですか？	02
労金連は、〈ろうきん〉とどのような関係にありますか？	04
労金連にはどのような役割がありますか？	05
〈ろうきん〉と労金連の不良債権の状況について教えてください。	06
〈ろうきん〉と労金連の自己資本比率は何%ですか？	07
〈ろうきん〉のセーフティネットについて教えてください。	08

### 資産形成応援

iDeCo・DC定期預金・つみたてNISA・財形を取組み	10
"いつでも・どこでも"ろうきんアプリ！ろうきん口座でスマホ決済！！	11

### ろうきんSDGs行動指針に基づく取組み

ろうきんSDGs行動指針に基づく〈ろうきん〉の取組み	12
ろうきんSDGs行動指針に基づく労金連の取組み	13
ろうきん森の学校・働きやすい職場をめざして	14

### 第10期中期経営計画・2023年度事業計画

### 2022年度決算の概況

2022年度決算の概況	17
主要指標の推移	17
利益率の推移	18
資産の構成	19
負債および純資産の構成	20
有価証券の時価情報	21

### 組織と体制

労金連の組織	22
総合事務センター	22
労金連の子会社	22
リスクに対する考え方	23
コンプライアンスに対する考え方	23
全国〈ろうきん〉のお問い合わせ先一覧	24





〈ろうきん〉と銀行の  
違いは何ですか？



〈ろうきん〉は、  
はたらく人がお互いを助け合うこと  
を目的に資金を出し合って設立した  
協同組織の金融機関です。



## 〈ろうきん〉はここが違います！

### 〈ろうきん〉の基本姿勢

目的

〈ろうきん〉は、  
はたらく仲間がつくった福祉金融機関です。

運営

〈ろうきん〉は、  
営利を目的としない金融機関です。

運用

〈ろうきん〉は、  
生活者本位に考える金融機関です。

### 〈ろうきん〉の事業運営3原則

〈ろうきん〉の目的や原則は労働金庫法によって規定されており、市中銀行との違いが明確に区分されています。〈ろうきん〉は労働金庫法第5条に定められている「非営利の原則」「会員に対する直接奉仕の原則」「政治的中立の原則」に基づき、中期経営計画および年度事業計画等を策定し事業運営を行っています。

#### 労働金庫法(抜粋)

(目的)

第1条 この法律は、労働組合、消費生活協同組合その他労働者の団体が協同して組織する労働金庫の制度を確立して、これらの団体の行う福利共済活動のために金融の円滑を図り、もつてその健全な発達を促進するとともに労働者の経済的地位の向上に資することを目的とする。

(原則)

第5条 金庫は、営利を目的としてその事業を行ってはならない。

2 金庫は、その行う事業によつてその会員に直接の奉仕をすることを目的とし、特定の会員の利益のみを目的としてその事業を行ってはならない。

3 金庫は、その事業の運営については、政治的に中立でなければならない。

### 〈ろうきん〉の社会的役割

〈ろうきん〉は、組合活動の支援、金融商品の提供に加え、「はたらく人の福祉金融機関」として、はたらく人の暮らしを支え、守ることも大切な役割と考えます。

#### 生活応援運動

〈ろうきん〉は、お金に関する悩みを解決するため、生活設計・生活防衛・生活改善の3つの取組みで、生涯にわたってはたらく人の生活をサポートしています。

#### 福祉金融機能の発揮

〈ろうきん〉は、はたらく人をサポートするため、国・地方自治体と連携し、低金利な福祉ローンなどを提供しています。

#### 労働組合の支援

〈ろうきん〉は、組合員のライフプランを支援する様々な商品やサービスを提供し、労働組合の自主福祉活動をバックアップしています。

#### 低金利な融資商品の提供

〈ろうきん〉は、営利を目的としない福祉金融機関としての独自性を発揮し、カード・自動車・住宅・教育などの分野で低金利な融資商品を提供しています。

#### 利用者の拡大

〈ろうきん〉では、労働組合のない職場ではたらく方々、パート・有期契約・派遣労働者、退職された方々にも利用できるよう取り組んでいます。

#### 福祉事業の助成

〈ろうきん〉は、生活協同組合やNPOなどへ事業資金を供給し、福祉事業団体に対する金融センターの役割を發揮しています。

#### 多重債務の予防

〈ろうきん〉は、多重債務者にならないようにカードローンやクレジットカードの注意点をお伝えし、全国で相談や借換などに対応しています。

#### 財形制度の改善

〈ろうきん〉は、財形貯蓄制度を改善するために、労働者福祉団体と連携して国に対する要望書を提出するなど、よりよい財形制度づくりに努めています。

#### 退職金・企業年金の見直し支援

〈ろうきん〉は、退職金・企業年金を守る取組みをサポートするとともに、退職後の大切な生活費となる資産の運用をお手伝いしています。



労金連は、  
〈ろうきん〉と  
どのような関係に  
ありますか？



労金連には  
どのような役割が  
ありますか？



A

労金連は、全国13〈ろうきん〉を会員とする中央金融機関です。  
〈ろうきん〉の余裕資金のうち、63%を預金で受け入れ、その資金を有価証券や貸出金などで運用しています。  
(2023年3月31日現在)



労金連は、「(株)格付投資情報センター(R&I)」の発行体格付け「AA-」を取得しています。  
(2023年6月30日現在)

**知識**

**間接構成員とは**  
〈ろうきん〉の団体会員に属する一人ひとりのお客さまのことです。たとえば、〈ろうきん〉の団体会員が労働組合である場合、その組合の組合員を「間接構成員」と呼んでいます。

A

労金連は、〈ろうきん〉の金融活動を支え、〈ろうきん〉業態を発展させるため、次の5つの役割を担っています。



- 労金連の役割
- 1 〈ろうきん〉間の資金需給調整
  - 2 〈ろうきん〉の金融業務の補完
  - 3 〈ろうきん〉業態の信用力の向上
  - 4 総合事務センターの運営と事務集中による〈ろうきん〉の業務の効率化
  - 5 〈ろうきん〉の余裕資金の集中による効率運用

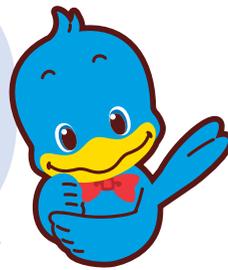


**知識**

**余裕資金とは**  
〈ろうきん〉は、お客さまからお預かりした資金を、主に住宅ローンなどの貸出資金として役立てています。残りの資金は、労金連への預金や有価証券などで運用していますが、貸出以外のこれらの運用資金を「余裕資金」と呼んでいます。

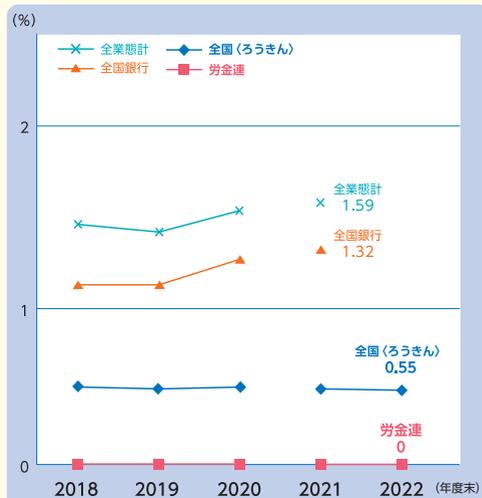


〈ろうきん〉と  
労金連の不良債権の  
状況について  
教えてください。



全国〈ろうきん〉の不良債権の比率は**0.55%**と、  
他業態に比べ大変低い数値となっています。  
なお、2022年度末において、労金連には**不良債権  
はありません。**

不良債権比率の推移



(注) 1. 当表では、2020年度末まではリスク管理債権の数値、2021年度末以降は金融再生法に基づく債権の数値を用いています。  
2. 全国(ろうきん)は労金協会調べ。

労金連の不良債権の状況

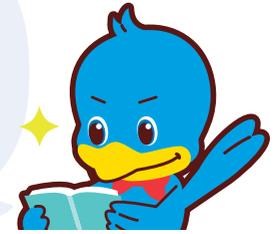


不良債権とは

ディスクロージャー誌への開示が義務づけられている金融機関の不良債権には、「労働金庫法に基づく開示債権」と「金融再生法に基づく債権」の2種類がありますが、これらに関する区分等が一本化されたため、2021年度末からは「金融再生法に基づく債権」の数値を用いています。



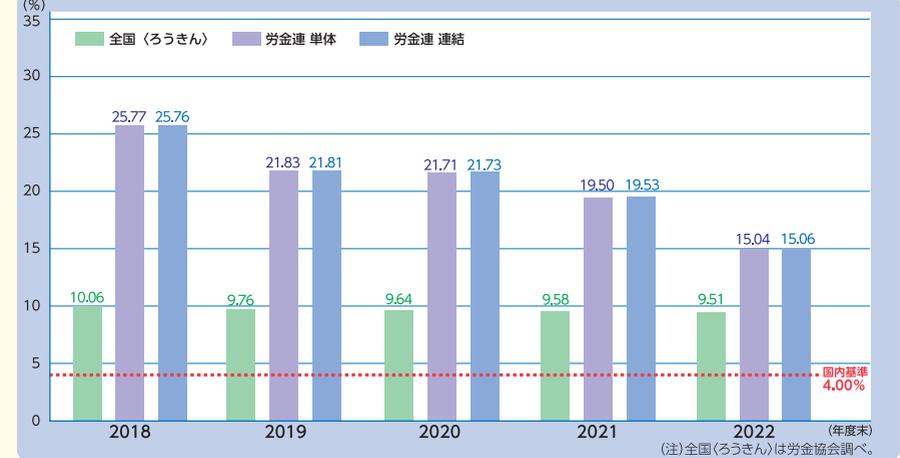
〈ろうきん〉と労金連の  
自己資本比率は  
何%ですか？



〈ろうきん〉は**9.51%** (全国平均)、  
労金連は**15.04%**と、国内基準の4%を  
大きく上回っています。

「自己資本比率」は、金融機関の経営の健全性を判断するための基準として法令により定められた指標です。〈ろうきん〉や労金連など、国内業務のみを行う金融機関では4%以上が求められています。

自己資本比率の推移



〔労働金庫法第94条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、労働金庫及び労働金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁・厚生労働省告示第7号)〕に基づき算定しています。  
なお、労金連および全国(ろうきん)は国内基準を採用しています。

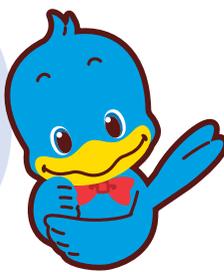


自己資本比率とは

自己資本比率は、金融機関経営の健全性をみる指標です。保有する資産が自己資本でどの程度保全されているかを次の式で計算します。  
自己資本の額 ÷ (信用リスク・アセット額 + オペレーショナル・リスク相当額 × 12.5) × 100  
\* 12.5は国際統一基準の自己資本比率8%の逆数



〈ろうきん〉の  
セーフティネットについて  
教えてください。



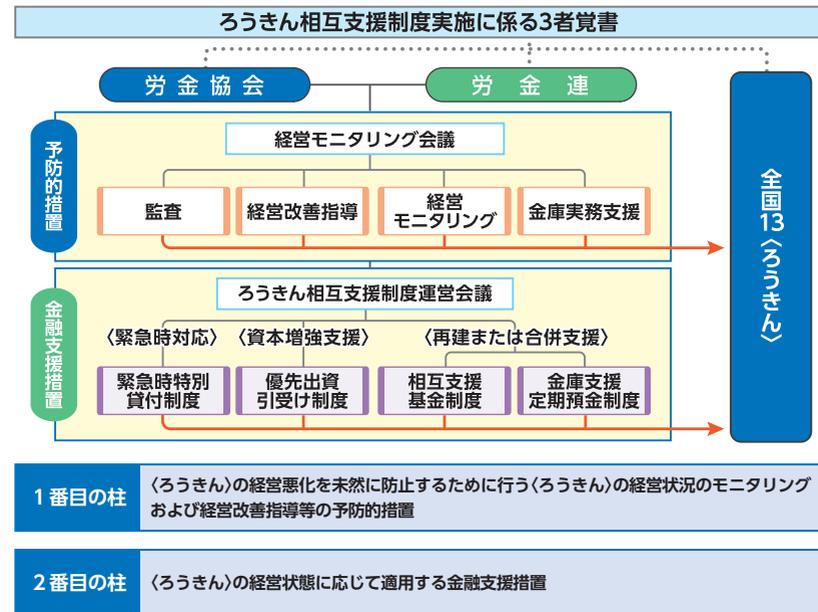
〈ろうきん〉のセーフティネット「**ろうきん相互支援制度**」は、〈ろうきん〉の経営悪化を未然に防止し、その経営力強化を図るとともに、資本増強等を必要とする〈ろうきん〉に対して労金連が支援を行う制度です。全国13 〈ろうきん〉、(一社)全国労働金庫協会(労金協会)および労金連の3者が参加しています。

お客さまの預金を守るしくみに、預金保険制度(公的セーフティネット)があります。

この預金保険制度とは別に、〈ろうきん〉は、業態独自のセーフティネットの制度を運営し、預金保険制度の利用に至ることのないよう、お客さまの大切な預金を守っています。

**これからも、安心・安全が〈ろうきん〉の経営の基本です。**

ろうきん相互支援制度のしくみ



ろうきん相互支援制度の金融支援措置

緊急時特別貸付制度

風評などにより、一時的に預金の払戻しが急増した場合やそのおそれがある場合、〈ろうきん〉は労金連に対し、緊急時特別貸付制度適用の申込みができます。  
あらかじめ設定された限度額内で借入れ申込みができるため、機動的な利用が可能となります。

優先出資引受け制度

自己資本の充実の必要が生じた場合、〈ろうきん〉は労金連に対し、優先出資引受け制度適用の申込みができます。  
自己資本の増強は、普通出資による増資や事業活動の成果である当期純利益の蓄積により行うことが基本ですが、これらの手段を補完するための資本調達手段として制度化されたものです。

相互支援基金制度

万が一、経営に重大な支障をきたした場合、〈ろうきん〉は労金連に対し、相互支援基金制度適用の申込みができます。  
相互支援基金制度は、全国の〈ろうきん〉と労金連が協力して積み立てた相互支援基金を財源とし、この基金から経営危機に陥った〈ろうきん〉に対し、資金援助を行う制度です。この基金から資金援助を受けた〈ろうきん〉は、事業の継続を図りながら健全化に努めます。

金庫支援定期預金制度

金庫支援定期預金制度は、相互支援基金制度の補完的な位置づけとして制度化されました。〈ろうきん〉は労金連に対し、金庫支援定期預金制度適用の申込みができ、適切なタイミングでの早期支援が可能となっています。この制度の支援を受けた〈ろうきん〉は、事業の継続を図りながら早期健全化に努めます。

「ろうきんiDeCo」取扱商品追加！！

iDeCo(個人型確定拠出年金)は、税制優遇を活用しながら老後に向けた資産形成ができる私的年金制度で、「ろうきんiDeCo」の加入者数は2023年3月末現在で27万件を超え、取扱機関のなかでもトップクラスになっています。

2022年10月からは、企業型DC加入者も原則iDeCoに加入できるようになったほか、2023年4月に商品ラインアップに国内と海外の不動産投資信託(リート)を追加し、さらに魅力が増えています。労金連は、「ろうきんiDeCoスペシャルサイト」や資産運用アドバイス(ロボットアドバイザー)などのサービスの提供、専用コールセンターによるお客さまの対応のほか、インターネットによる「ろうきんiDeCo」への新規加入や資産移行のWEB申込みサービスの対応など、利便性向上や役立つ情報の提供に努めています。



<https://rokin-ideco.com/>



「ろうきん確定拠出年金定期預金(期間5年・1年)」が残高1兆円突破！！

労金連は、全国の(ろうきん)を代表して企業型確定拠出年金の商品提供機関を担っており、「ろうきん確定拠出年金(DC)定期預金(期間5年・1年)」を提供しています。

この商品は、競争力のある金利や高い信用力を背景に多くの企業から選定いただいております(2023年3月末現在1,260規約、16,868社)、安定的に資産形成できる商品として加入者等にご利用いただいた結果、同時点の残高は1兆263億円まで増加しました。

労金連のウェブサイト「ろうきんの勤労者の資産形成に係る役割発揮宣言～企業年金に係る取り組み～」では、本商品のご案内以外に、企業年金の概要や資産運用の考え方、選択制DCやマッチング拠出のシミュレーションなど役立つ情報を提供しています。



<https://www.rokinren.com/kigyonenkin-support/>



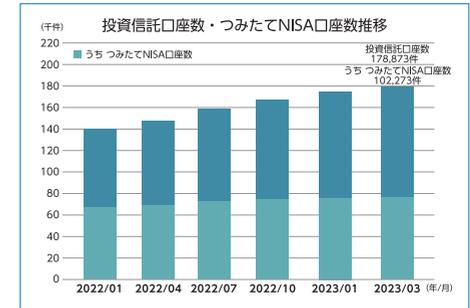
「ろうきん」でつみたてNISA

つみたてNISAで資産形成！！

(ろうきん)では、お客さまの様々なライフプランに応じた「つみたてNISA」の活用をご提案しています。資産を形成していくお客さまのニーズにお応えする中で、2023年3月末現在で投資信託口座数178,873件のうち、つみたてNISAの口座数は102,273件を占め、毎年、取扱が増加しています。

また、2024年1月からNISA制度の抜本的拡充・恒久化が図られます。(ろうきん)は「新しいNISA」に関する情報や商品・サービスの提供に努め、お客さまの将来に向けた資産形成を応援します。

ろうきんNISAスペシャルサイト  
<https://www.rokinren.com/rokin-nisa/>



「ろうきん」と財形

ろうきん財形は選ばれてNo.1

勤労者財産形成促進制度(財形制度)は、勤労者の計画的な貯蓄、持家取得を促進するという目的でつくられた制度です。給与天引きで計画的に毎月少しずつ貯蓄することができ、財形住宅と財形年金をあわせた元利合計が550万円に達するまで利息が非課税になるなど、メリットの大きい貯蓄方法です。

(ろうきん)では、計画的な資産形成や多重債務対策などの「生活応援運動」を展開しており、多くの勤労者の皆さまにその中核的な商品である「ろうきん財形」をご活用いただいております。

2023年3月末現在で契約件数は2,380,511件・貯蓄残高は3兆7,198億円となり、件数・残高ともに業態別第1位となっています。

ろうきん財形契約件数・貯蓄残高(2023年3月末) (単位:件、百万円)

	一般財形	財形年金	財形住宅	合計
契約件数	1,626,509	578,556	175,446	2,380,511
貯蓄残高	2,674,640	791,912	253,312	3,719,865

“いつでも・どこでも”ろうきんアプリ！ろうきん口座でスマホ決済！！



「ろうきんアプリ」はスマートフォンで“いつでも・どこでも”、かんたんに残高や入出金を確認できる便利なアプリです。

他にも、入出金明細に使用用途などをメモできる機能や、スマートフォンのカメラを使用した税金などのお支払い、郵送でお届けしていた各種ご案内を確認できる「Webお知らせ」、「住所変更」、お近くの(ろうきん)の店舗での「相談・予約」、(ろうきん)からのおトクな情報のお届け、また、PayPay、LINE Pay、J-Coin Pay、Bank Payの4つのスマホ決済サービスとの連携など、便利な機能がご利用いただけます。

また、2022年7月からは、アプリから普通預金口座の開設を申込みできる「ろうきんアプリ口座開設」のサービス提供を開始しました。今後も、お客さまのニーズに合わせて各種サービスを提供してまいります。

ろうきんお役立ちコラム

Vol.1 もっと便利に！「ろうきんアプリ」サービス開始  
<https://www.rokinren.com/uno/fulcolumn/01/>

Vol.2 ろうきんでも！スマホ決済サービスと口座連携  
<https://www.rokinren.com/uno/fulcolumn/02/>



ろうきんSDGs行動指針に基づく(ろうきん)の取組み

ろうきんSDGs行動指針

(ろうきん)は、2019年3月に「ろうきんSDGs行動指針」を策定しました。SDGsのスローガンである「誰一人取り残さない」や、全ての人々が必要な金融サービスにアクセスでき利用できる状況をめざす「金融包摂」の考え方は、「ろうきんの理念」や「ろうきんビジョン」に合致しています。

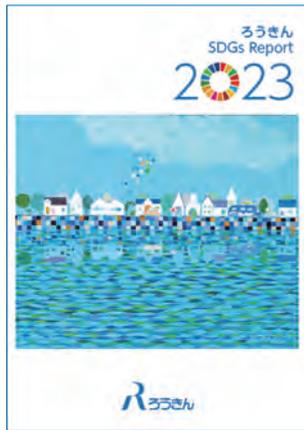
労金運動を通じた勤労者の生活向上という、(ろうきん)の使命を徹底追求することを通じて、(ろうきん)に期待される協同組織金融機関としての役割発揮とSDGs達成に取り組みます。



SDGsレポートの発行

労金協会は、「ろうきんSDGs行動指針」に基づき、SDGs推進に係る全国の(ろうきん)および労金連による各種取組みや成果等を発信し、会員をはじめとした様々なステークホルダーに「共感の輪」を広げていくための報告書として、「ろうきんSDGs Report 2023」を作成しました。

詳しくは「SDGsとろうきん」(https://all.rokin.or.jp/about/sdgs.html)にてご紹介しています。



勤労者の生活を守る取組み

自然災害に係る取組み

(ろうきん)は、頻発する自然災害により被災された方々に(ろうきん)ならではの支援を実施していく観点から、災害復旧等に要する生活資金等や被災住宅の修理・改修等の復旧工事費等にご利用いただける災害救援ローン(無担保・有担保)を取り扱っているほか、会員団体等が行う自然災害の義援金振込口座への送金に係る為替手数料の免除措置を設けております。また、労金連では、(ろうきん)の中央機関として大規模災害発生時等の緊急時に全国の(ろうきん)を支援する貸付制度を整備しています。

勤労者の生活支援に係る取組み

(ろうきん)では、新型コロナウイルス感染症の影響を含め、収入減少・離職等の影響を受けた皆さまの各種相談を行っております。また、収入減少または離職し、生活資金等が必要な会員組合員への生活支援の観点から「勤労者生活支援特別融資制度(新規融資・無担保)」を取り扱っております。

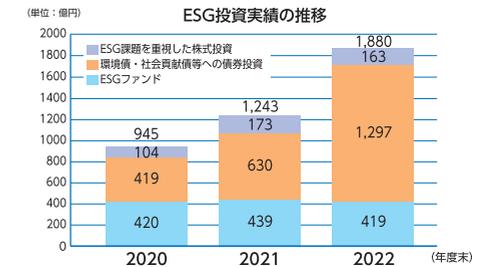
ろうきんSDGs行動指針に基づく労金連の取組み

持続可能な社会の実現に向けた経営の推進

労金連は、「ろうきんの理念」にある“人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与すること”を実現するため、経営方針に「社会的責任(CSR)を重視した誠実な経営」を掲げています。この経営方針を実践し、SDGsを達成していくため、持続可能な社会の実現をめざす金融の担い手として、勤労者を取り巻く社会的課題の解決に繋がる資金循環をつくりだしていく責任があると考え、ESG投資に取り組んでいます。

ESG投資の実践

(ろうきん)は、会員や間接構成員の皆さまから預金としてお預かりした資金を、全国のはたらく仲間の生活支援として「住宅ローン」「教育ローン」「自動車ローン」といった貸出金として役立てています。労金連は、貸出金以外の運用可能な余裕資金を集中し、効率的に運用する中で、投資先企業のESG(E:環境、S:社会、G:企業統治)課題への取組みに配慮したESG投資を実践しています。



責任投資原則(PRI)への署名

労金連は、2017年9月に(ろうきん)業態を代表し、国内預金取扱金融機関(信託銀行を除く)で初めて、国連が提唱する責任投資原則(PRI:Principles for Responsible Investment)に署名しています。

PRIとは、投資行動にあたって、投資先企業のESG課題への取組みに配慮することを宣言したものです。2023年3月末日現在、世界で5,300を超える機関投資家や運用会社等が賛同署名しています。



持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則

労金連は、地球の未来を憂い、持続可能な社会の形成のために必要な責任と役割を果たしたいと考える金融機関の行動指針として策定された「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則(21世紀金融行動原則)」に署名しています。

この署名は、21世紀金融行動原則の趣旨が、「ろうきんの理念」および労金連の経営方針に掲げる「社会的責任(CSR)を重視した経営」に通底するものであること、ガイドラインの取組事例と本会の実践内容が一致していることなどから2012年2月に行ったものです。

労金連は、持続可能な社会の形成に向けた金融機関の責任と役割を認識し、この21世紀金融行動原則の趣旨に基づく取組みを推進していきます。



ろうきん森の学校

労金連は創立60周年記念社会貢献活動として、2015年度からの10年間を「第II期」と位置付けて、全国5地区で環境教育事業「ろうきん森の学校」に継続して取り組んでいます。

「ろうきん森の学校」の活動は、「国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)」が推奨する連携事業に認定されたほか、第5回いきものにぎわい企業活動コンテストにおいて「公益社団法人国土緑化推進機構理事長賞」を受賞するなど、各方面から、長期にわたる活動に対する評価をいただいています。



2022年度活動紹介

各地区の森の学校は、①森を育む(植樹、間伐・下刈り等の森林整備活動)、②人を育む(森づくりや環境教育リーダーの育成)、③森で遊ぶ(里山を活用した自然体験プログラムの開発と実施)を3つの柱として活動を展開しています。



SNS(note)を活用した情報発信により、各地区NPOの活動や森の学校に関わる人たちの想いを記事や写真で紹介しています。



「ろうきん森の学校」 お問い合わせ先

<b>全国事務局・富士山地区</b> NPO法人ホールアース自然学校	〒419-0305 静岡県富士宮市下袖野165 (全国事務局) <a href="https://www.mori-gakko.net/">https://www.mori-gakko.net/</a> TEL:0544-66-0790 FAX:0544-67-0567 (ホールアース自然学校) <a href="https://www.wens.gr.jp/">https://www.wens.gr.jp/</a>
<b>福島地区</b> NPO法人いわきの森に親しむ会	〒972-8326 福島県いわき市常磐藤原町湯ノ岳2湯ノ岳山荘内 TEL・FAX:0246-44-3273 <a href="https://iwaki-mori.jimdo.com/">https://iwaki-mori.jimdo.com/</a>
<b>新潟地区</b> NPO法人かみえちご山里ファン倶楽部	〒949-1734 新潟県上越市大字増沢962-1 TEL:025-541-2602 FAX:025-512-1379 <a href="https://kamiechigo.jp/">https://kamiechigo.jp/</a>
<b>岐阜地区</b> NPO法人グリーンウッドワーク協会	〒501-3701 岐阜県美濃市2973番地1 TEL:090-4793-9508 <a href="https://www.greenwoodwork.jp/">https://www.greenwoodwork.jp/</a>
<b>広島地区</b> NPO法人ひろしま自然学校	〒731-1221 広島県山県郡北広島町今吉田1197 TEL:080-4069-0786 <a href="https://hs-gakko.wixsite.com/2005">https://hs-gakko.wixsite.com/2005</a>

働きやすい職場をめざして

くるみん・トモニの取得

仕事と子育ての両立を図るための制度・環境の整備、職員がワークライフ・バランスを保って働くことができる環境の整備に努めており、次世代認定マーク(愛称:くるみん)を取得しています。

また、仕事と介護の両立に関する取組みを公表し、厚生労働省のシンボルマーク(愛称:トモニ)を使用できるようになりました。

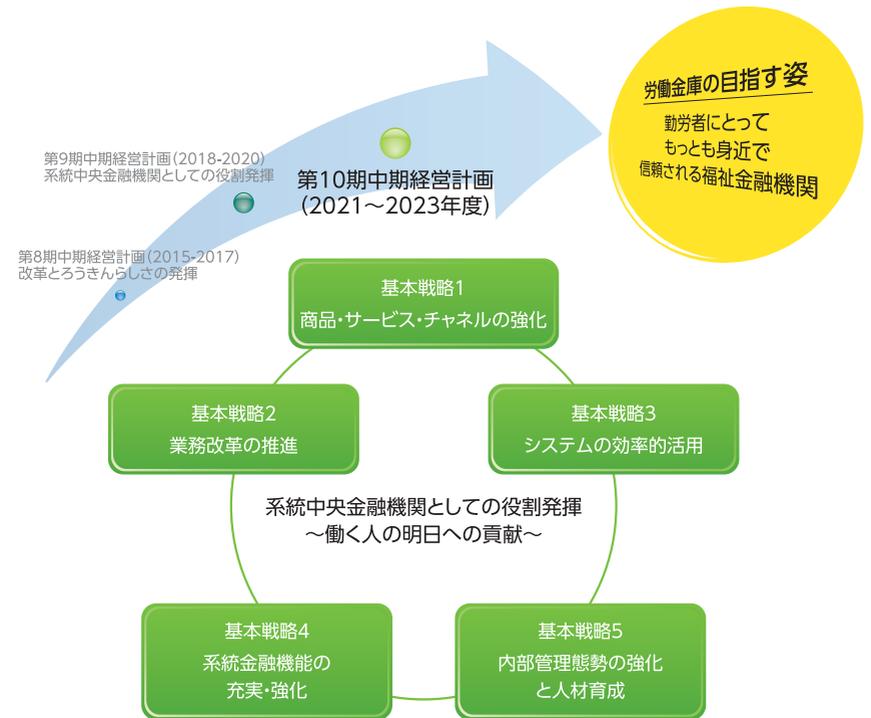


総労働時間削減に向けた取組み

職員のワークライフ・バランスの実現に向けて、ノー残業デー(部やセクション単位:年間48回、職場一斉:年2回)、年休取得強化月間(年3回)、連続休暇の取得の促進などの取組みを事業体と労働組合が共同して行っています。

第10期中期経営計画

労金連は、2021年6月の通常総会において、「労働金庫連合会第10期中期経営計画」(以下、「第10期中期経営計画」といいます。)を策定しました。これは、2021年度から2023年度までの3か年における労金連の経営の方向性、課題などを表したものです。



第10期中期経営計画においては、業態共通課題である「会員との協働・地域共生の促進」「環境変化に応じた事業の変革」「運動発展・事業継続に必要な強固な経営基盤の確立」や「業態IT戦略の方針(第III期)」および「ろうきんSDGs行動指針」を踏まえ、(ろうきん)の働く人のための福祉金融機関としての役割発揮を支援し、業態の持続可能な経営基盤に寄与するとともに、SDGs達成に貢献していくため、本会は、第9期中期経営計画の取組みをさらに発展・深化させた、「**系統中央金融機関としての役割発揮 ~ 働く人の明日への貢献 ~**」を全体戦略として、5つの基本戦略を策定しました。

金庫が顧客に提供する商品・サービスの利便性向上および会員・顧客基盤の拡大、また、業態の業務改革を推進し事務省力化・営業力の強化につなげるための戦略として、次の3つを策定しました。

- 基本戦略1 商品・サービス・チャネルの強化
- 基本戦略2 業務改革の推進
- 基本戦略3 システムの効率的活用

また、上記の基本戦略を下支えし、業態および本会の持続的安定的な経営の実現に向けて、次の2つを策定しました。

- 基本戦略4 系統金融機能の充実・強化
- 基本戦略5 内部管理態勢の強化と人材育成

なお、第10期中期経営計画における財務的目標として、本会および業態の財務の健全性および安定性の客観的評価である、R&Iの発行体格付「AA-」の維持を掲げています。

**I. 計画の名称** 労働金庫連合会第10期中期経営計画  
「系統中央金融機関としての役割発揮 ～働く人の明日への貢献～」

**II. 計画の期間** 2021年度～2023年度(3か年)

**III. 策定の趣旨**

- ◆ 本会は、「ろうきんビジョン」(2015年度～2024年度までの10か年目標)の実現に向けて、当初3か年を第8期中期経営計画(2015年度～2017年度)～「改革とろうきんらしさの発揮」～として取り組み、次の3か年の第9期中期経営計画(2018年度～2020年度)では、「系統中央金融機関としての役割発揮」を全体戦略として、4つの基本戦略～①商品・サービス・チャンネル戦略の強化、②ITの戦略的活用、③「ろうきんビジョン」を実現する組織・人材の強化、④厳しい環境下での持続可能な経営基盤の構築～の下、事業展開を行ってまいりました。
  - ◆ 2021年度からの3か年は、「ろうきんビジョン」の実現に向けた実質的な集大成となると同時に、次の時代に向けた土台となる重要な期間となります。この間の金融経済・社会環境の著しいかつ非連続的な変化を踏まえると、働く人のための福祉金融機関としての役割は益々高まっており、働く人にもっとも身近で信頼される金融機関に向けて、業態総合力を結集し、系統中央金融機関としての役割を最大限発揮していく必要があります。こうした認識の下、第10期中期経営計画を策定しました。
  - ◆ 今後の経済社会環境は、ウィズコロナ・アフターコロナ時代として、非対面・デジタル社会の急速な進展、GDPの戦後最大の落ち込みによるマイナス金利環境の一層の長期化等が見込まれるうえ、超高齢社会や人生100年時代、格差拡大の進行等が考えられるため、業態を取り巻く経営環境は非常に厳しくかつ変化が速いことが想定されます。
- 第10期中期経営計画では、こうした環境変化に柔軟に対応し、厳しい経営環境を乗り越え、将来の業態の発展につなげていくため、労金協会・金庫と連携を密にし、従前以上に変革意識とチャレンジ精神を持って事業を展開します。働く人に一層寄り添い、働く人の生活と将来へ貢献するとともに業態の持続可能な経営基盤の確立に向けて、金庫の金融業務の補完・支援、総合事務センターの安定・効率運営、系統金融機能の強化等、系統中央金融機関としての役割を最大限発揮していきます。

2023年度事業計画

2023年度事業計画は、第10期中期経営計画の最終年度として、以下の課題に取り組みます。

**基本戦略1**

商品・サービス・チャンネルの強化

- 1-1 働く人の多様化するニーズに適した商品・サービスの提供と会員・顧客基盤の拡大
- 1-2 金融デジタルライゼーションに対応したチャンネル展開
- 1-3 人生100年時代に対応した勤労者の生涯生活設計支援

**基本戦略2**

業務改革の推進

- 2-1 業態の事務コスト削減および生産性向上
- 2-2 事務集中部門の業務効率化の推進と対象業務の拡大
- 2-3 本会業務の抜本的効率化

**基本戦略3**

システムの効率的活用

- 3-1 システムの安定運用・活用とコスト削減の取組み
- 3-2 アール・ワンシステムリリース後のIT戦略
- 3-3 セキュリティ対策の強化

**基本戦略4**

系統金融機能の充実・強化

- 4-1 安定的な収益確保と成果還元の実現
- 4-2 業態セーフティネットの強化
- 4-3 収益力の向上とリスク管理態勢および財務基盤の強化
- 4-4 「ろうきんSDGs行動指針」に基づく取組みの推進

**基本戦略5**

内部管理態勢の強化と人材育成

- 5-1 業態総合力の発揮
- 5-2 「ろうきんビジョン」実現に向けた人材育成
- 5-3 危機管理態勢の強化と組織体制の整備

2022年度決算の概況

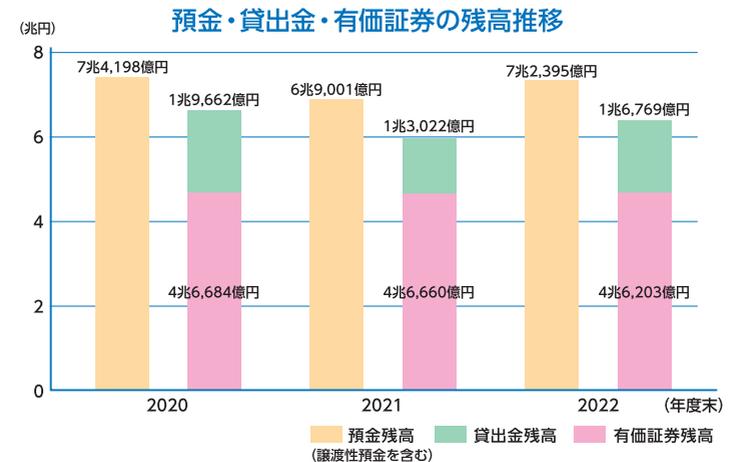
経常利益は103億円(前期比10億円減)、税引前当期純利益は103億円(前期比10億円減)、当期純利益は84億円(前期比9億円減)となりました。

総資産は、9兆4,864億円(前期末比1,594億円減)となりました。

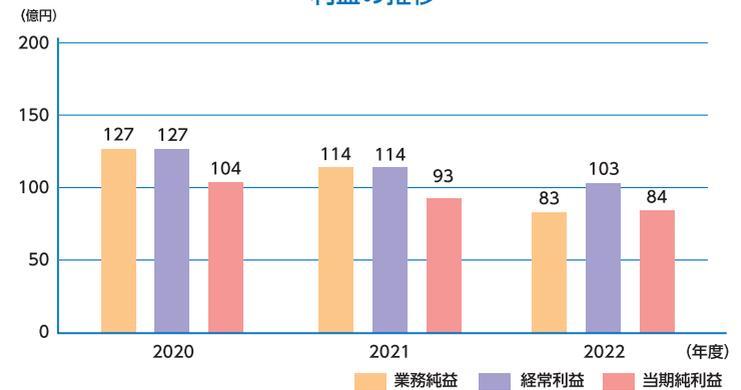
預金(譲渡性預金を含む)は7兆2,395億円(前期末比3,393億円増)、貸出金は1兆6,769億円(前期末比3,747億円増)、有価証券は4兆6,203億円(前期末比456億円減)となりました。



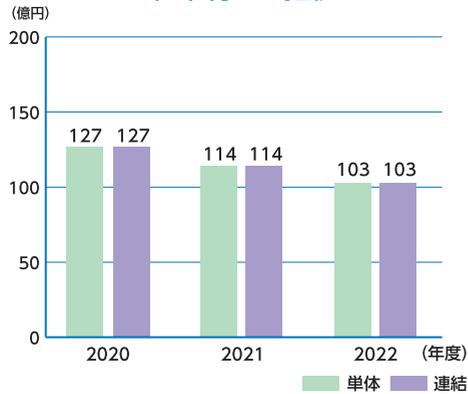
主要指標の推移



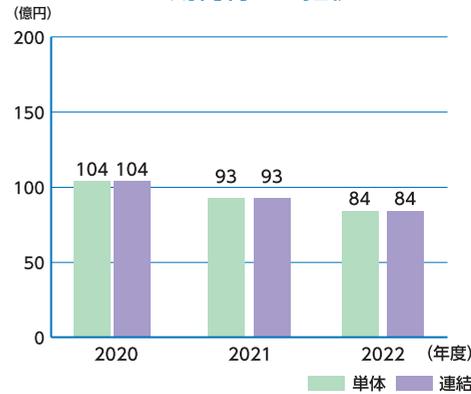
利益の推移



経常利益の推移

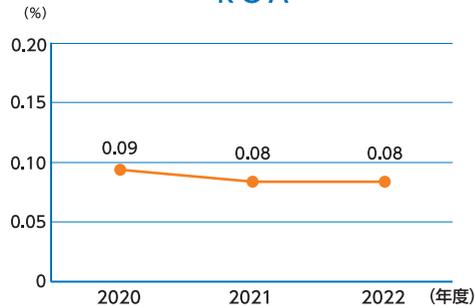


当期純利益の推移



利益率の推移

ROA



ROE

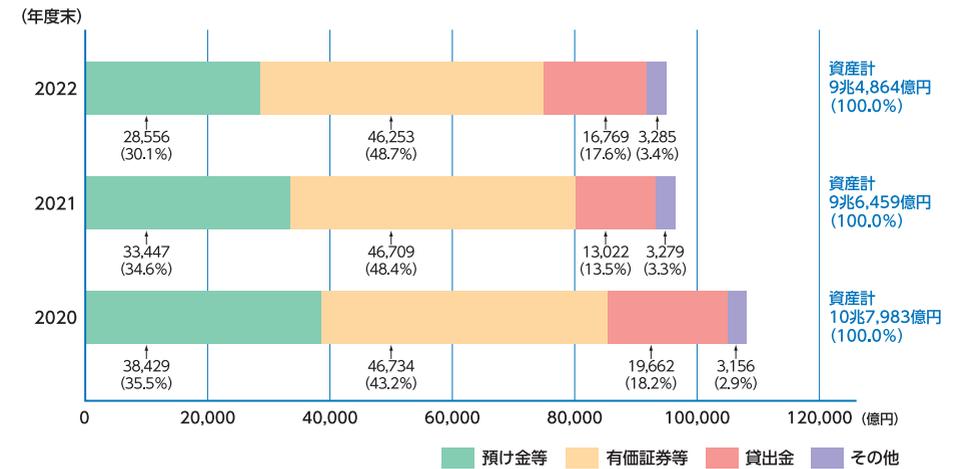


用語説明

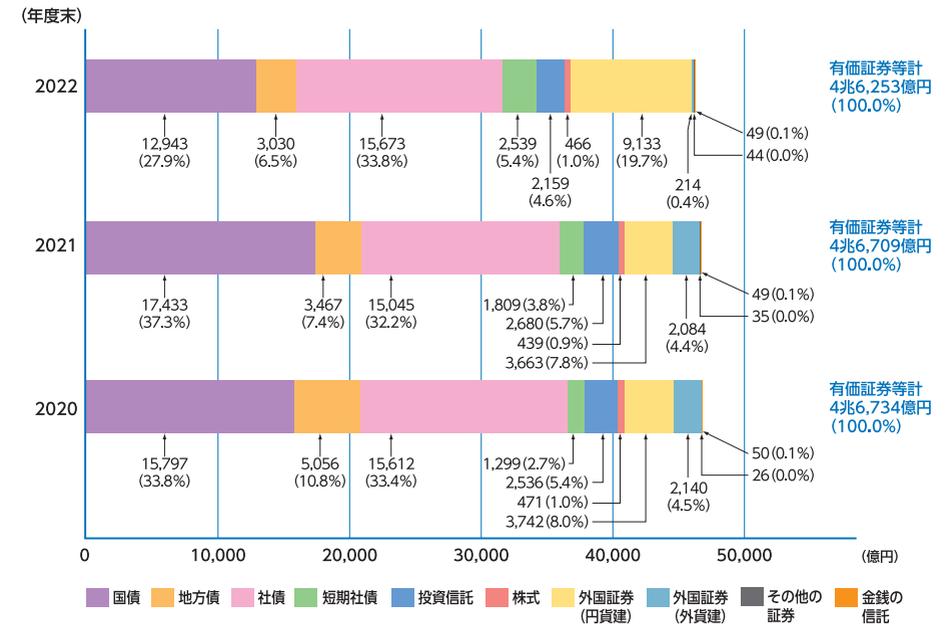
- 「業務純益」とは、金融機関の基本的な業務の成果を示す利益指標です。
- 「経常利益」とは、金融機関の通常業務による利益のことで、「経常収益」から「経常費用」を差し引いたものです。
- 「当期純利益」とは、「経常利益」に「特別利益」、「特別損失」を加減し、税金を控除した後の最終的な利益のことです。
- 「ROA」とは、総合的な収益性を表す指標で、「総資産を使って、どれだけ利益を上げたのか」をみるためのものです。ここでは、「総資産当期純利益率」を用いています。
- 「ROE」も収益性を表す指標ですが、こちらは、会員の立場から、「純資産がどれだけ利益を生み出したか」をみるためのものです。ここでは、「純資産当期純利益率」を用いています。

資産の構成

資産の構成

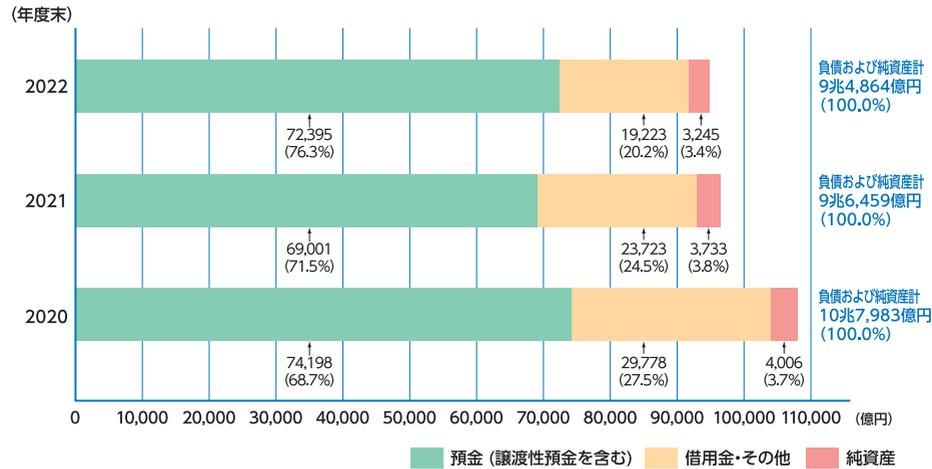


有価証券等の内訳



負債および純資産の構成

負債および純資産の構成



純資産の内訳

(単位: 億円)

項目	2020年度末	2021年度末	2022年度末
出資金	1,200	1,200	1,200
利益準備金	445	470	496
特別積立金	1,120	1,120	1,120
当期末処分剰余金	246	253	255
その他有価証券評価差額金等	994	689	174
純資産計	4,006	3,733	3,245

※「その他有価証券評価差額金」とは、「その他有価証券」を時価評価することにより生じる評価差額に税効果を勘案した額です。

有価証券の時価情報

満期保有目的の債券

(単位: 億円)

項目	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	—	—
	地方債	157	158
	短期社債	—	—
	社債	1,145	1,148
	外国証券	700	703
	その他	—	—
小計	2,003	2,010	7
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	—	—
	地方債	91	90
	短期社債	2,539	2,539
	社債	1,558	1,555
	外国証券	525	515
	その他	—	—
小計	4,713	4,701	△12
合計	6,717	6,711	△5

(注) 1. 時価は、事業年度末における市場価格等に基づいています。  
 2. 社債には、政府保証債、公社公団債、金融債、事業債が含まれます。  
 3. 市場価格のない有価証券は本表には含めていません。

その他有価証券

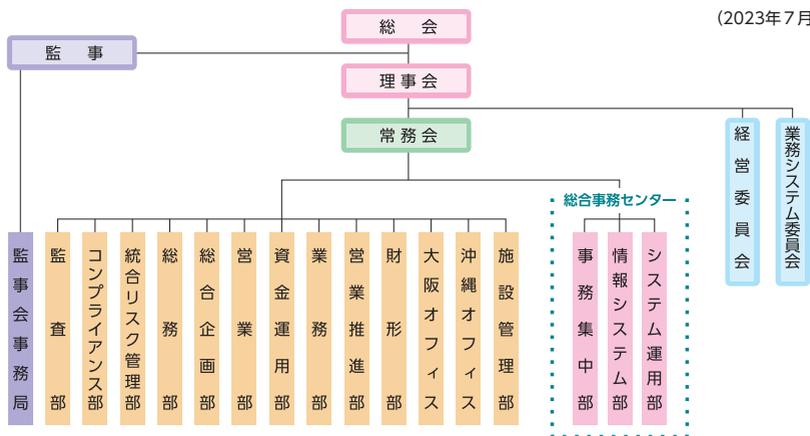
(単位: 億円)

項目	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	453	227
	債券	14,798	14,466
	国債	7,535	7,269
	地方債	1,467	1,456
	短期社債	—	—
	社債	3,767	3,742
	外国証券	2,028	1,997
	その他	1,193	855
	小計	16,446	15,548
	小計	16,446	15,548
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	7	8
	債券	22,017	22,561
	国債	5,407	5,621
	地方債	1,314	1,359
	短期社債	—	—
	社債	9,202	9,423
	外国証券	6,092	6,156
	その他	1,365	1,484
小計	23,390	24,053	
合計	39,836	39,602	233

(注) 1. 貸借対照表計上額は、事業年度末における市場価格等に基づいています。  
 2. 社債には、政府保証債、公社公団債、金融債、事業債が含まれます。  
 3. 市場価格のない有価証券は本表には含めていません。  
 4. 本表には、貸借対照表の有価証券のほか、「預け金」の中の譲渡性預け金が含まれています。

労金連の組織

(2023年7月1日現在)



総合事務センター

総合事務センターは、1989年12月に、ろうきんバンキングシステムの共同センターとして設立され、全国(ろうきん)の金融業務、内国為替取引、ATM提携などに係るオンラインシステムの運用を担っています。1990年以降各地域のシステムを順次統合し、2007年1月に全国一本化が完了しました。

さらに充実した商品・サービス提供のため、2014年1月5日からは「アール・ワンシステム」が稼働しています。

〈ろうきん〉では、パソコンやスマホなどによる「ろうきんダイレクト」のほか、スマホ向け「ろうきんアプリ」のサービス拡充、スマホ決済サービス「PayPay」「LINE Pay」「J-Coin Pay」への(ろうきん)口座からの電子マネーチャージの対応を行っています。

今後も、「アール・ワンシステム」の安定稼働に努めるとともに、制度・政策課題への取組み、金融デジタル化に対応した取組み、およびサイバーセキュリティ強化の取組みなどを実施してまいります。

\* 主なATM提携先

- ・MICS加盟の金融機関
- ・[入金ネット]マークのある金融機関
- ・イオン銀行(主な設置先:イオン・マックスバリュ・ミニストップなど)
- ・ゆうちょ銀行
- ・セブン銀行(同:セブン-イレブン・イトーヨーカドーなど)
- ・ローソン銀行(同:ローソン)
- ・イーネット(同:ファミリーマート他)
- ・ビューカード(同:VIEW ALTTE)JR東日本の駅構内)

\* 主なアプリ等提携先

- ・家計簿アプリ(マネーツリー、マネーフォワードなど)
- ・スマホ決済サービス(PayPay、LINE Pay、J-Coin Pay、Bank Pay)

労金連の子会社

会社名	事業区分	主要な事業の内容
株式会社 労金カードサービス	金融関連業務	クレジットカード業務 リース業務 損害保険代理業務
	従属業務	管理受託業務 商品販売業務 事務代行業務

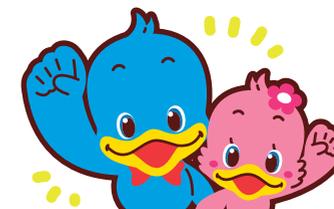
リスクに対する考え方

労金連は、経営方針において、労働金庫の中央金融機関としての役割を発揮するために、経営基盤を強化し、経営の健全性を確保するとともに、リスク管理等の内部管理態勢を強化し、適切な業務運営を行うこととしています。

労金連が中央金融機関の役割と機能を十分に果たすためには、経営の健全性を継続的に確保することが必要となります。安定的な収益確保に向けて、〈ろうきん〉からの安定的な預金の受け入れに努め、適正なリスク管理およびALMのもとに、運用力の強化を図ります。また、自己資本の充実を図り、リスクに応じた十分な財務基盤の保有に努めています。

労金連は、所在する各種のリスク状況を

把握し、必要に応じて適切な対応を行うため、役員理事を委員長とする経営管理委員会、システムリスク管理委員会、ALM委員会、コンプライアンス委員会等を設置し、審議内容を常務会に報告または付議するなど、「統合的リスク管理規程」に従ったリスク管理体制を構築しています。



コンプライアンスに対する考え方

労金連は、「ろうきんの理念」に掲げる「人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与すること」を「経営方針」に明記し、理念に根ざした事業活動を行うことを経営の根幹に据えています。これは、〈ろうきん〉の中央金融機関として〈ろうきん〉業態の発展に努めると同時に、社会の一員としてより良い社会の実現に対する責任を果たしていくことが労金連の目指すCSR経営であるからです。

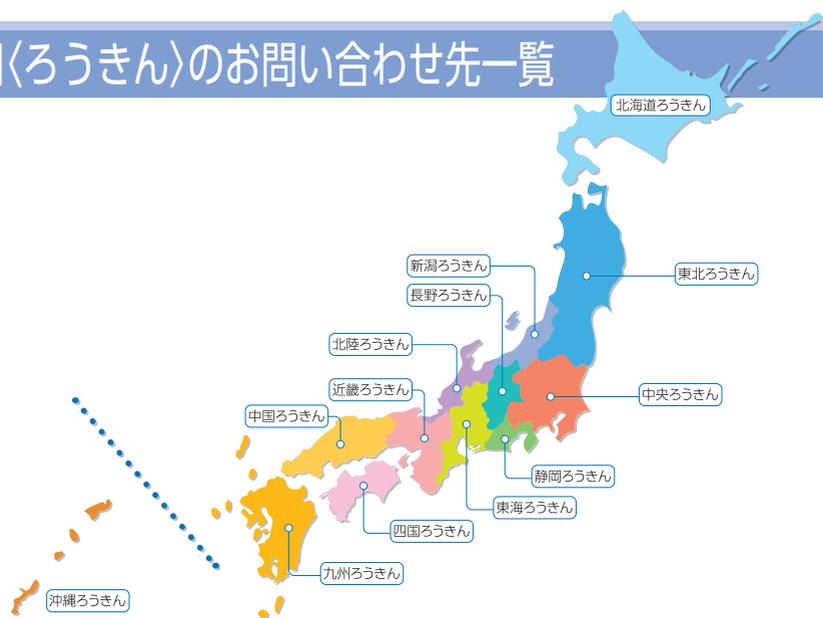
このCSR経営の重要な柱となるのがコンプライアンスです。労金連は、社会からの揺るぎない信頼の維持、業務の健全性および適切性を確保するため、コンプライアンス

を経営上の最重要課題の一つとして位置づけ「法令等遵守方針」を定めています。

また、「行動規範」では、法令等遵守に加え、情報開示、人間の尊厳の尊重、環境への配慮、情報や情報システムの適切な管理・保護など、労金連あるいは役員一人ひとりが守るべき事項を定め、企業倫理や事業活動に対する労金連の基本姿勢を明らかにしています。

このような理念、経営方針、法令等遵守方針ならびに行動規範に基づき、労金連は、今後も広く社会から信頼される金融機関となることをめざして透明性の高い誠実な経営を行ってまいります。

# 全国〈ろうきん〉のお問い合わせ先一覧



( )内は事業地区

## 北海道労働金庫 (北海道ろうきん)

**TEL 0120-5-109-26**  
〒060-0001 札幌市中央区北1条西5-3-10  
<https://www.rokin-hokkaido.or.jp/>

## 東北労働金庫 (東北ろうきん)

**TEL 0120-1919-62**  
(青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)  
〒980-0023 仙台市青葉区北目町1-15  
<https://www.tohoku-rokin.or.jp/>

## 中央労働金庫 (中央ろうきん)

**TEL 0120-86-6956**  
(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨)  
〒101-0062 千代田区神田駿河台2-5  
<https://chuo.rokin.com/>

## 新潟県労働金庫 (新潟ろうきん)

**TEL 0120-191-880**  
〒951-8565 新潟市中央区寄居町332-38  
<https://www.niigata-rokin.or.jp/>

## 長野県労働金庫 (長野ろうきん)

**TEL 0120-606-150**  
〒380-0838 長野市県町523  
<https://www.nagano-rokin.co.jp/>

## 静岡県労働金庫 (静岡ろうきん)

**TEL 0120-609-123**  
〒420-0851 静岡市葵区黒金町5-1  
<https://shizuoka.rokin.or.jp/>

## 北陸労働金庫 (北陸ろうきん)

**TEL 076-231-8000**  
(富山・石川・福井)  
〒920-8552 金沢市芳斉2-15-18  
<https://hokuriku.rokin.or.jp/>

## 東海労働金庫 (東海ろうきん)

**TEL 0120-226616**  
(愛知・岐阜・三重)  
〒460-0007 名古屋市中区新栄1-7-12  
<https://tokai.rokin.or.jp/>

## 近畿労働金庫 (近畿ろうきん)

**TEL 0120-191-968**  
(滋賀・奈良・京都・大阪・和歌山・兵庫)  
〒550-8538 大阪市西区江戸堀1-12-1  
<https://www.rokin.or.jp/>

## 中国労働金庫 (中国ろうきん)

**TEL 0120-86-3760**  
(鳥取・島根・岡山・広島・山口)  
〒732-0827 広島市南区稲荷町1-14  
<https://www.chugoku-rokin.or.jp/>

## 四国労働金庫 (四国ろうきん)

**TEL 0120-505-690**  
(徳島・香川・愛媛・高知)  
〒760-0011 高松市浜ノ町72-3  
<https://www.shikoku-rokin.or.jp/>

## 九州労働金庫 (九州ろうきん)

**TEL 0120-796-210**  
(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)  
〒810-0074 福岡市中央区大手門3-3-3  
<https://kyusyu-rokin.com/>

## 沖縄県労働金庫 (沖縄ろうきん)

**TEL 0120-602-040**  
〒900-0029 那覇市旭町1-9  
<https://www.okinawa-rokin.or.jp/>

## 全国労働金庫協会 (労金協会)

**TEL 03-3295-6721**  
〒101-0047 千代田区内神田1-13-4  
<https://all.rokin.or.jp/>

## 労働金庫連合会 (労金連)

**TEL 03-3295-9322**  
〒101-0047 千代田区内神田1-13-4  
<https://www.rokinren.com/>

インターネットでも情報をご覧いただけます。 **労金連ウェブサイト** <https://www.rokinren.com/>

## 凡例

### 1. 表示方法

ことわりのない限り、各表・グラフ等に表示した数値は、単位未満の端数を切り捨てて記載しています。

内訳と合計がある場合、合計と内訳の計が一致しない場合があります。

### 2. 記載例

「0」単位未満の数字がある場合

「-」該当数字がない場合

「△」マイナス値の場合

### 3. その他

全国〈ろうきん〉の数値は速報値です。

## 労働金庫連合会ミニディスクロージャー誌2023

2023年7月発行

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-4

労働金庫連合会 総合企画部

TEL 03-3295-9332

<https://www.rokinren.com/>



※労働金庫会館建替えに伴い、2023年7月24日より上記住所に仮移転しています。